



## 親も子どももみんな交流 地域でつながる子育ての輪



☎記事について…広報統計課 ☎43-9317 ▷各事業について…こども未来課 ☎43-2167

市では、子育ての孤立・負担感の緩和を図るため、保護者が安心して子育てができる環境を整備しています。今回は、小学校入学前の子どもとその保護者が気軽に集い、さまざまな遊びや体験を通じて交流が楽しめる場をご紹介します。「子育ての悩みを話したい」「子どもと一緒に、家ではできない遊びを楽しみたい」など、同年代の子どもを育てているからこそ分かり合える、温かい時間を過ごしてみませんか。



## ★ 子育てサロン ★

子育てサロンでは、地域で子育てを見守り、応援する活動を行っています。絵本の読み聞かせや季節の行事、工作、エクササイズ、おやつタイムなど、子どもにぴったりの遊びがたくさんあります。運営するスタッフは、子育て経験が豊富なボランティアの皆さんです。子育ての悩みも相談できます。



詳しくは  
こちら

**開催頻度** 月1回 **時間** 2時間程度 **場所** 公民館、児童館など

**対象** 小学校入学前の子どもとその保護者

**料金** 材料費、おやつ代などの自己負担あり



## ★ 地域子育て支援センター ★

地域子育て支援センターは、保育園や幼稚園、認定こども園によって運営されています。親子遊びや体操、園庭・ホールの開放、子育て相談、育児講座、給食体験、クッキング、図書の貸し出しなど、活動内容は園によってさまざまです。各地域の子育てに関する情報提供も行っています。



詳しくは  
こちら

**開催頻度** 週3～6日 **時間** 5時間程度 **場所** 保育園など

**対象** 小学校入学前の子どもとその保護者

**料金** 材料費、おやつ代などの自己負担あり



## 第2子以降の保育料が無償化されています

申問こども未来課 ☎43-9094 ✉ kodomo@city.hachinohe.aomori.jp

4月から、保護者の収入に関係なく、扶養する第2子以降の子どもの保育料(0～2歳児クラス)が無償化されています。詳しくは市ホームページをご覧ください。お問い合わせください。



詳しくは  
こちら

**対象** 次の全てに該当する子ども  
▷市に住所がある ▷保護者が実際に扶養している2人目以降 ▷保育の必要性がある

**申し込み** ▷認可施設 不要 ▷認可外施設 申請書を提出



## ★ こどもはっち ★

こどもはッチは、小学校入学前の子どもとその保護者であればどなたでも利用できます。こどもはッチで行っている事業・イベントの一部をご紹介します。



詳しくはこちら

**時間** 9時30分～16時30分

**場所** 八戸ポータルミュージアムはっち4階



### こどもはッチでおるすばん

子どもを安心して預けられる保育事業です。通院や買い物などの用事がある際に利用できます。



### プレパパプレママひろば

妊娠8か月以上のプレパパ・プレママを対象とした勉強会です。沐浴・妊婦体験などを行います。



### 転勤パパママサークル

転勤で八戸市にきた家族同士で、幼稚園・保育園、病院、遊ぶ場所などの情報交換ができます。



### こどもはッチおたずね隊

妊娠中や産後間もない人の自宅へ伺います。育児の相談を受けたり、子どもとの遊びのサポートをしたりします。

### オレンジデー

ハンディキャップのある子どもとその家族のための特別開館日です。工作や読み聞かせを行います。

**PICK UP!** 3月に行われた「こまっちサークル」の参加者3組にお話を伺いました。

#### 利用のきっかけは？

昨年11月に県外から引っ越してきたので知り合いがいなくて、総合保健センターを利用したときにこどもはッチのサークルを紹介してもらいました。一度参加してみたら楽しかったので、また来ました。

#### 参加した感想は？

家にいると行動範囲が限られるので、子どもに刺激があった方がいいかなと思っていました。今日のサークルの中で使われていた物を子どもが目で追っていたので、良い刺激になったのではないかと思います。

#### 参加したことがない人へ

同じ月齢の子どもを育てている人と話していると、悩みが同じことがあります。親同士の交流も楽しいです。参加してみて、そこから交流が広がることもあると思うので、一度来てみてください。



#### 利用のきっかけは？

家だと狭いので、広い場所で遊ばせたかったのと、情報交換ができる友達をつくれたらいいと思っていました。妻にこのサークルを勧められたこともあり、育休を取得したタイミングで来てみました。

#### 参加した感想は？

楽しかったですが、やはりお母さんが多かったです。お父さんがいたら、お父さん同士で交流して、友達になることもできるのかなと思います。参加するお父さんが増えるといいなと思います。

#### 参加したことがない人へ

子どもを連れて外出するのは、準備が多くて大変だと思いますが、来てみると楽しいです。周りの人の協力があると、こういったサークルに参加しやすいと思います。ぜひ一歩踏み出してみてください。



#### どんなときに利用する？

こどもはッチは、サークルなどのイベントがあるときに利用しています。また、公民館などでやっている子育てサロンや、保育園・幼稚園でやっている地域子育て支援センターにも行っています。

#### 子どもの様子はどうだった？

こういう場に来ると、子どもが緊張して離れなくなりますが、だんだん場に慣れて、楽しそうにしていました。人がたくさんいると子どもにとっても刺激になると思います。

#### 参加したことがない人へ

サークルに来て、スタッフの皆さんに相談したり、親同士で話したりすることもあります。皆さん優しいので、緊張せず、子どもと一緒に楽しむ気持ちで来てみてください。



 INTERVIEW!

こどもはっちを運営する「(特非)はちのへ未来ネット」代表理事の平間さんに、こどもはっちや八戸市全体の子育て支援などについてお話を伺いました。

### ★ 対面での親子の交流

近年、出産から1年たたない間に仕事に復帰するお母さんが増えていることもあり、乳児期のうちに子どもがいろいろな人と触れ合うことは難しくなっていると思います。ただ、子育てサロンや地域子育て支援センター、こどもはっちなどの施設に行くと、赤ちゃんにとっては、いつもは聞こえない大人の声が聞こえたり、見たことがないたくさんの方の顔が見られたりするの、赤ちゃんなりに人が集まる所でいろいろな体験ができるのは大切だと思っています。

親にとっては、まだ話せない赤ちゃんとのコミュニケーションをとるのは難しいと思います。こういう場所に来れば、親同士で交流ができます。同じぐらいの月齢の子どもがいる親同士が対面で会話できるというのは、とても良いことだと思います。SNSでのつながりとは違った良さがあると感じています。



### ★ 利用者を増やすための取り組み

サークルを行う際は、いつも同じ内容ではなく、赤ちゃんの月齢別に分けてみたり、参加者に取ったアンケートの結果を参考に新しいことを取り入れてみたりして、変化させています。歌や体操、読み聞かせ、耳を訓練するための音のリズム取りなど、いろいろなことをサークルの中に少しずつ取り入れて、毎回参加者の皆さんに新鮮味を感じていただければと思います。

### ★ 利用者と接する上で心がけていること

表情をよく見るようにしています。相手が赤ちゃん、答えが返ってこなくても、赤ちゃんの顔を見ながら話しています。お父さん・お母さんに対しても同様に、お互いに目を合わせてお話しするというのが大事だと思っています。

### ★ 地域での子育て

八戸市には、各地域に子育てサロンがありますが、地域の人たちが運営するサロンがあるというのは、実は全国的に見ても珍しいことです。八戸市は、「地域で子育てしていこう」という意識があるところだと思っています。

私は、保護者の皆さんが住んでいる地域でつながっていただきたいと思っています。こどもはっちは、各施設のスタッフともつながっていますので、施設にどんな人がいるのか、どんな活動をしているのかなど、ご案内できます。何か聞きたいことがあったら、それぞれの希望に合った情報を提供しますので、情報の収集にも使っていただきたいです。



### ★ 利用したことがない人へ

こういった場にまだ来たことがない人もたくさんいると思います。こどもはっちでは、おたずね隊という事業を行っていて、これまでに何人かのお家に伺っています。どんなスタッフがやっているかわからないと不安だと思うので、お家にお邪魔して、子どもと一緒に遊んで、「こんな人がいるんだったら、こどもはっちに行ってみようかな」と思っただけならうれしいです。

最近はInstagramでの情報発信にも力を入れていて、イベントの開催報告などを投稿しています。また、ホームページにも事業の内容など詳しい情報を掲載しています。ご覧いただき、興味が湧いたらぜひお越しください。人と接するのが苦手な人は、無理に話す必要はなく、子どもと静かに過ごすでも大丈夫ですので、人がいる場所の雰囲気を味わっていただけたらと思います。



平間 恵美さん